

海洋調査船を用いたアウトリーチ活動

—第12回全国児童「ハガキにかこう海洋の夢絵画コンテスト」体験乗船—

○鈴木 晋一・馬場 千尋・五味 和宣・満澤 巨彦・三宅 裕志・伊東 崇（海洋研究開発機構）

海洋研究開発機構では普及・広報活動の一環として、全国の小学生を対象とした「ハガキにかこう海洋の夢絵画コンテスト」を毎年実施しており、平成21年度で第12回を迎えた。本コンテストは、児童の海への興味喚起を目的として、ハガキ（ハガキ大の紙も含む）に海洋への夢を描いてもらうもので、コンテストの上位入賞者を当機構所有船舶による体験乗船に親子での招待を実施している。

第12回コンテストは応募総数26,709通の中から選ばれた上位入賞者15名とその保護者各1名を招待し、入賞者を年齢別の3班に分けた日帰り乗船の形式とし、平成21年8月14日～8月16日の3日間の日程で海洋調査船「なつしま」及び無人探査機「ハイパードルフィン（HPD）」を用い、駿河湾において実施した。体験乗船を駿河湾で実施することは初めてであったため、なるべく生物が多く、観察でき、且つ清水港から1時間以内の回航で到着できる海域の選定を行い、戸田沖と土肥沖をポイントとした。

今回の海域設定がHPDの潜航ポイントまで時間が掛る駿河湾となった理由としては、港湾条件から参加者の乗下船に通船を使用する必要性のある相模湾（熱海港、伊東港には通船もないため、三崎港から回送して使用）よりも港湾条件が良く、常に着岸可能な基地港として清水港があり、特異な地殻形成と比較的生物相が豊富な海域として設定できるとの判断によるものである。当然のことながら、参加者の基地港へのアクセスについても必要十分な要件を満たしていることも理由となっている。

1日目（HPD#1170）は、戸田沖に潜航することし清水港を出港した、海域到着までの間に出港風景の見学、各種の説明事項と記念に漬す発砲カップ制作などを行い、船内の見学を行った、潜航中は昨年同様に参加者より募集した各種の実験、海底及び生物の観察、HPDの操縦体験などを行い、その後はHPDのコントロールルームでの浮上中の観察、揚収作業見学などを行った。海域を離れ清水港への回航中にサンプルの観察や実験などをラゴで行い、着岸作業中に参加者各自の体験乗船のまとめ、下船してから記念撮影を行って解散とした。2日目（HPD#1171）は、土肥沖に潜航し、出港から入港までの基本計画は1日目とほぼ同様としたが、HPDの浮上中は前日の生物サンプル観察と解説とした。また、本潜航から広報課がWebで公募していた企画実験を実施した。3日目（HPD#1172）は再度戸田沖の潜航として、潜航の基本計画はほぼ同様とした。若干、生物の観察に時間を取る予定であったが、HPDの油圧トラブルがあり、潜航時間が2時間弱短縮されたため、「なつしま」の操船体験を行い、その後の予定時間を長くすることで調整し、前日までの参加者よりは多少早めの解散となった。

「なつしま」が台風4号避航により、体験乗船開始当日の朝清水港入港となり、前日準備ができず、回航中の短時間で潜航準備を整えたことなどのトラブルもあったが、参加者が企画した実験の大半は実施し、海洋・極限環境生物圏領域からの協力で乗船して頂いた三宅裕志氏、伊東崇氏による深海生物の解説と実験などもあり、参加者からは高評価を得たものと確信している。

海洋研究開発機構の普及・広報活動の中で本コンテストは最も重要な企画と認識しており、体験乗船は他機関では実施できない貴重な体験、特に科学や研究の一端にふれられる体験として重視して行っている。実体験は何よりも強い印象を参加者に与え、特に小・中学生頃の体験は後の興味や進路にも強く影響し、保護者が一緒に参加することで、保護者の海洋研究開発の理解増進ともなる。

本体験乗船は海洋そして海洋研究への関心の向上に大きく寄与し、人材育成ともなるプログラムであるが、このような機会を、多くの子供たちに提供することは現実的には非常に難しいため、コンテストのように非常に多くの子供たちが参加できる効果的な事業展開を行い、より多くの児童の海への興味を喚起し、体験乗船を実施する本事業は重要且つ継続すべきと考えており、一昨年度行った「アイデア部門」の新設など、今後も更に良い方法を模索していく必要があると考えている。

本発表では本事業のご紹介を行い、体験乗船のより効率的なプログラム、海洋調査船を用いたアウトリーチ活動の効果的な使用方法などについて、ご意見いただきたいと考える。

<第12回全国児童「ハガキにかこう海洋の夢絵画コンテスト」副賞 体験乗船のようす>



乗船後の諸事項の説明



船内見学で船長の説明を受ける



参加者から寄せられた「沈めてみたいもの」



HPD 操縦体験と研究者からの深海生物解説



「なつしま」の操船体験（トラブルも良い場合が）



着岸後の「なつしま」前で記念撮影